

実践的リスクマネジメント即戦力アップ講座～開発編～（4119139）

リスクマネジメントを行う際に必要なリスク識別、リスク分析を中心に 即活用できる具体的なノウハウを伝授します。モデルケースによる演習と講師の豊富な経験談を中心に講義を進めます。

開催日時	2019年10月3日(木) 10:00-17:00 2019年10月4日(金) 10:00-17:00
カテゴリー	IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント 専門スキル
講師	中谷英雄 氏 (株式会社ピーエム・アライメント 取締役 ビジネスコンサルティング部長) PMI認定PMP 2013年 米国PMI最優秀教育プロバイダー認定 スクラムアライアンス認定スクラムマスター (CSM) プロダクトオーナー (CSPO) <略歴> 1. BIPROGY (旧:日本ユニバック) (1983年～) 2. 三井住友信託銀行 (旧:三井信託銀行) (1990年～) 3. ピーエム・アライメント (2006年～現職) ・主に金融IT大規模プロジェクトのPMO支援に従事。 ・その後大学院でデザインマネジメントを学び、社会課題の解決、金融商品の開発等でデザイン、アート、顧客体験等を活用。 ・現在、新事業創出、デザイン戦略、イノベーションとDX推進に関する諸テーマを中心に、コンサルティング活動、教育活動を展開している。 <研究会活動> ・PM関連:PMIJ会員(アジャイルPM研究会会員、プログラムマネジメント研究会会員) ・イノベーション関連:JUAS(イノベーション研究会会員JIIP3) PMIJ会員(ソーシャルPM研究会) ・震災復興関連のNPO向けに、イノベーションプロセスの活用支援展開中 <PM関連書籍著> 監修 PMI 日本支部 「PMツールの実践的活用」プロジェクト 翻訳メンバー PMIプログラムマネジメント標準 第2版
参加費	J U A S 会員/ITC : 66,000円 一般: 84,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数2枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (日本橋堀留町2丁目ビル2階)
対象	プロジェクトマネージャー 、 プロジェクトマネージャーを支援する上位管理者 、もしくは、 プロジェクトマネージャーの経験がある方 上記
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※PMP資格取得者の方へPDU取得修了書、これからPMP資格を目指す方には、「受講証明書」を発行いたします。14PDU取得 (スキルエリア:テクニカル) ※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9025
ITCA認定時間	12

主な内容

*・..。受講者の声.☆☆☆☆。

- ・机上的話だけでなく、導入のための勤所も聞いて大変良かった。
- ・講師の経験・実体験をまじえた園主が実践的で分かりやすい。
- ・リスクマネジメントの重要性を再認識した。
- ・リスクマネジメントに関する全体の流れを整理できた。
- ・事例の中には実務に取り込める内容もあったので実践してみたい。
- ・座学と演習の質、バランスが良い。実務を意識できる内容である。
- ・きわめて実践的で悩みを解決する示唆、ヒントに富んでいる。
- ・多くの経験談、および実践形式により、イメージが付きやすかった。
- ・ケーススタディを通し、講義内容を体感することで、理解度が高まった。

*・..。☆☆☆☆。

プロジェクト成功の鍵は問題が表面化する前に、プロジェクト計画段階でリスク要因を抽出・分析し対策を施すこと。リスクに気づく力、読み出す力を学びます。リスクマネジメントをプロジェクト・組織で定着させるまでの経験を全員で、共有します。

本セミナーは、「実践的プロジェクトマネジメント即戦力アップ講座～見積・提案編」のステップアップコースとして、プロジェクト成功のための一つの鍵になる「リスク管理」にターゲットをあてたコースです。

プロジェクトマネジメントには、リスクが現実化して計画との差異が生じた時に、如何に的確に対処するが関係しています。本セミナーでは特にリスク管理にターゲットをしぼり、「プロジェクト計画段階でのリスクマネジメント計画」、「リスク識別」、「定性的・定量的リスク分析」、「リスクの監視コントロール」などについて講師の豊富な経験に基づく講義と、具体的なケーススタディを通してリスク管理の重要性について理解を深めていきます。

<<内容>>

※内容は変更する場合がございます。

- 1 リスクマネジメントの概要
- 2 リスクマネジメント計画（講義、事例の解説）
- 3 リスク識別（講義、個人演習）
- 4 定性的リスク分析（講義、個人演習）
- 5 定量的リスク分析（講義、個人演習）

<ケーススタディ 1>

要件定義完了時 失敗事例を通じて、ロジックツリー技法で原因分析を行い、リスク事象、影響、発生確率を導く方法を身につける

- 6 リスク対応計画（講義、個人演習）
- 7 リスク監視とコントロール（講義）
- 8 リスクとリスクマネジメントの具体的な事例（講義）

<ケーススタディ 2>

基本設計完了時 失敗事例を通じて、チェックリストを活用して、原因分析を行い、リスク事象、影響、発生確率、対策を導く方法を身につける